

ヴァイデックスECカプセル 125

ヴァイデックスECカプセル 200

【この薬は？】

販売名	ヴァイデックス ECカプセル 125 VIDEX EC CAPSULES 125	ヴァイデックス ECカプセル 200 VIDEX EC CAPSULES 200
一般名	ジダノシン didanosine	
含有量 (1カプセル中)	125mg	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の逆転写酵素を阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

HIV感染症

- ・この薬を、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり薬が効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬で、膵炎（激しい腹痛、腰や背中の痛み、発熱、吐き気、嘔吐（おうと））がおこることがあるので、この薬を飲んでいる間は定期的に血液検査が行われます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・膵炎（激しい腹痛、腰や背中の痛み、発熱、吐き気、嘔吐）にかかっている人
 - ・過去にヴァイデックスE Cカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・過去に膵炎にかかったことがある人
 - ・末梢神経障害がある人または過去に末梢神経障害になったことがある人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。特に腎臓に障害がある人においては慎重に飲む量が決められます。通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

体重	60kg 未満	60kg 以上
販売名	ヴァイデックスE Cカプセル 125	ヴァイデックスE Cカプセル 200
一回量	2 カプセル	2 カプセル
飲む回数	1 日 1 回食間（食事と食事の間の空腹時）	

●どのように飲むか？

かまずにコップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に 1 回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合には一回とばして、次の時間に 1 回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・ビタミン剤なども含めて他の薬剤とこの薬を一緒に使用した場合、好ましくない作用がおこるおそれがあるので、現在服用している全ての薬剤を医師に報告してください。
- ・重篤な膵炎（激しい腹痛、腰や背中痛み、発熱、吐き気、嘔吐）があらわれることがありますので、このような症状があらわれた場合は、医師の指示に従ってください。この薬の使用中は、定期的に血液検査が行われます。
- ・末梢神経障害（末端のしびれ・刺すような痛み・うずくような痛み）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、医師の指示に従ってください。
- ・乳酸アシドーシス（全身のだるさ、吐き気、嘔吐、腹痛、急激な体重減少、呼吸が速くなる、息苦しさ）、脂肪沈着による重い肝腫大（吐き気、嘔吐、皮膚や結膜などが黄色くなる）、肝臓の障害（皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿が黄色い、吐き気、食欲不振、かゆみ、全身のだるさ）および門脈圧亢進症（腹がはる、階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、からだのだるい）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、医師の指示に従ってください。特に妊婦においては、海外でサニルブジンという薬剤と併用したときに死亡した例も報告されています。
- ・網膜性色素脱出（視力低下、視野異常および色覚異常）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、医師の指示に従ってください。この薬の使用中に定期的に視力検査が行われます。
- ・尿酸値が上がる場合があります。この薬の使用中は、定期的に血液検査が行われる場合があります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりすることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
腭炎 <small>すいえん</small>	腹痛、腰や背中痛み、発熱、吐き気、嘔吐
乳酸アシドーシス <small>にゅうさんアシドーシス</small>	全身のだるさ、吐き気、嘔吐、腹痛、急激な体重減少、呼吸が速くなる、息苦しさ
肝障害 <small>かんしょうがい</small>	全身のだるさ、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐
門脈圧亢進症 <small>もんみやくあつこうしんしょう</small>	腹がはる、階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、からだのだるい
網膜色素脱失 <small>もうまくしきそだっしゅつ</small>	夜盲、視野が狭くなる、視力低下、視野異常、色覚異常
視神経炎 <small>ししんけいえん</small>	視力低下、視野異常、色覚異常
発作 <small>ほっさ</small>	ほっさ
痙攣 <small>けいれん</small>	けいれん
錯乱 <small>さくらん</small>	考えがまとまらない、時間・場所・周囲の状態が分からない
ミオパシー <small>ミオパシー</small>	筋肉のこわばり、筋力の低下、痛み
低換気症 <small>ていかんきしょう</small>	体動時または睡眠中の息苦しさ、昼間の眠気
アナフィラキシー様反応 <small>アナフィラキシーようはんのう</small>	息苦しさ、蕁麻疹、全身のかゆみを伴った発赤、眼及び口の周囲の腫れ、ふらふら感、冷汗
皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） <small>ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）</small>	発熱、食欲不振、全身のだるさ、発疹、まぶた、眼の結膜、口の中のただれ、陰部の痛み、のどの痛み
急性腎不全 <small>きゅうせいじんふぜん</small>	尿量が減る、顔や手足のむくみ、頭痛、全身のだるさ、吐き気、嘔吐
汎血球減少症 <small>はんけつきゅうげんしょうしょう</small>	感染を起こしやすい、出血傾向
横紋筋融解 <small>おうもんきんゆうかい</small>	手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ、力がはいらない、全身のだるさ、尿が赤褐色になる
脳血管障害、 <small>のうけっかんしょうがい</small>	頭痛、吐き気、嘔吐、一時的な意識障害、手足の片側の麻痺、言語障害

重大な副作用	主な自覚症状
脳出血 のうしゅっけつ	頭痛、吐き気、嘔吐、一時的な意識障害、手足の片側の麻痺、言語障害

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだのだるい、全身のだるさ、急激な体重減少、けいれん、痛み、全身のかゆみを伴った発赤、ふらふら感、冷汗、感染を起こしやすい、出血傾向
頭部	ほっさ、けいれん、考えがまとまらない、時間・場所・周囲の状態が分からない、昼間の眠気、頭痛、一時的な意識障害、言語障害
顔面	顔のむくみ
眼	白目が黄色くなる、夜盲、視野が狭くなる、視力低下、視野異常、色覚異常、眼の周囲の腫れ、まぶた、結膜のただれ
口や喉	吐き気、嘔吐、口の周囲の腫れ、口の中のただれ、のどの痛み
胸部	吐き気、呼吸が速くなる、息苦しさ、体動時または睡眠中の息苦しさ、階段や坂を上る時の動悸や息切れ
腹部	腹痛、食欲不振、腹がはる
背中	腰や背中での痛み
手・足	手足のむくみ、手足の筋肉の痛み、手足の片側の麻痺
皮膚	皮膚が黄色くなる、蕁麻疹、全身のかゆみを伴った発赤、発疹
筋肉	筋肉のこわばり、筋力の低下、こわばり、しびれ、力がはいらない
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる
その他	陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	ヴァイデックスE Cカプセル 125	ヴァイデックスE Cカプセル 200
形状	 硬カプセル	 硬カプセル
長径	15.6mm	17.4mm
短径	5.5mm	6.1mm
重さ	0.21g	0.32g
色	白色	白色
識別コード	BMS125mg/6671	BMS200mg/6672

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ヴァイデックスE Cカプセル 125	ヴァイデックスE Cカプセル 200
有効成分	ジダノシン	
添加物	デンプングリコール酸ナトリウム、カルメロースナトリウム、メタクリル酸コポリマーLD、ラウリル硫酸ナトリウム、ポリソルベート 80、フタル酸ジエチル、水酸化ナトリウム及びタルク、また、カプセル本体にゼラチン及びラウリル硫酸ナトリウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

(<http://www.bms.co.jp>)

メディカル情報部

電話：0120-093-507

受付時間：9時00分～17時15分（土、日、祝日を除く）